

感動一点の場

『無題』

1989年 小川原 脩 画



小川原脩が70歳代に描いたやや大きめの50Fサイズ(91×116.7㌢)の作品です。画面の左奥に単純な形態で白く塗られた山があり、遠くまで広がる雪原に木とカラスが巧みに配置されています。

さっきまで吹雪いていた雪がやみ、太陽がのぞく明るく静かな雪原は、長く厳しい冬を過ごす者たちにとって心安らぐ情景です。雪原に立つ樹々は、冬の風にさらされ雪の重みに耐えた様子が曲がりくねった形状で表現されていますが、木肌に赤い絵の具が混じっていることで強い生命力を感じることができます。

吹雪をやりすぎたあとにやってきたカラスたちの、互いに語り合うようなしぐさや静かに餌をついばむ様子も単純な形態で描かれ、淡い黒色に紫色を少し混ぜているからでしょうか、ふくらみのある立体感が伝わります。

1990年以降、小川原は単純化したモチーフを組み合わせた作品を多く残しましたが、この作品はその時代の入り口にあったといえるでしょう。

文：金澤 逸子（小川原脩記念美術館 学芸スタッフ）

ふる探訪

479回

古倶知安湖 誕生のナゾ

羊蹄山やニセコ連峰に囲まれた盆地に位置する倶知安の町は、かつて湖の底にあったとされています（通称：古倶知安湖）。湖があった証拠は、ある時代の地層に湖成層といわれる縞状の地層が見られることや、そこから淡水生の珪藻土が発見されていることなどから示されています。

また、倶知安郵便局の駐車場では冬期間、融雪のために地下100㌢から水をくみ上げて散水していますが、酸化鉄を多く含む水は、駐車場を赤く染めるほどです。この“赤水”もこの地に湖があったことを物語るものの一つです。

湖の形成時期については諸説ありますが、これまでは約6千～3万8千年前に起きた羊蹄山の大规模な崩壊もしくは火山活動により尻別川がせき止められたことで誕生したと考えられてきました。しかし近年、継続的に行われている地質調査によって、尻別川がせき止められたとされる3万8千年よりも前に湖が存在していたことがわかりました。さらに、花粉分析によって当時の気候は現在よりも冷涼で、中山峠の周辺に見られるような常緑針葉樹を中心とした森林環境であったことも推定されました。

古倶知安湖がどのような出来事によって誕生したのか、これからの調査に一層期待が高まります。

文：小田桐 亮（倶知安風土館学芸員）



▲倶知安の赤水（倶知安郵便局の散水式融雪施設）

展覧会のお知らせ

■第1展示室

小川原脩展「アジアの大地」

小川原脩は晩年、アジアー中国桂林・チベット・インドへ旅をし、鮮烈な印象を受けて作品を制作しました。悠々とした大地、人と動物たちが繰り広げる豊かな時間が紡がれる絵画世界をご覧ください。

会期：3月4日(土)～7月2日(日)

■第2展示室

小川原脩セレクション「戦地スケッチ展」

2022年、北海道立近代美術館との共同研究で調査が行われた、小川原脩が残した160点もの「戦地スケッチ」。2008年以来となる戦時下スケッチの公開となります。従軍画家として戦地へ携えたスケッチブックを初公開しています。

【北海道立近代美術館（札幌）「戦時下の北海道美術ー画家たちは戦地で何を見たのかー」との連携企画です】

会期：開催中～4月16日(日)

アート・イベントのお知らせ

■ギャラリー・トーク

「小川原脩ーアジアの大地で」

新しく始まる小川原脩展「アジアの大地」の展示について、作品を前に学芸員がお話しします。

日時：3月4日(土)14時～14時30分

会場：第1展示室（展覧会初日のため無料）

お話：沼田絵美（学芸員）

■土曜サロン

名曲と巡る世界の美術館 (5)「ナショナルギャラリー」

イギリス・ロンドンのナショナルギャラリーをクラシックの名曲とともにめぐる映像を鑑賞します。

日時：3月11日(土)14時～14時45分

会場：映像ルーム（無料）

お相手：金澤逸子（学芸スタッフ）

■ミュージアム・コンサート

「ふたりしずか朗読音楽会」

音楽と語りの融合で美しい日本語と日本の小説の情感を伝える朗読ユニット「ふたりしずか」をお迎えして、「ドライブ・マイ・カー」（村上春樹・作）、「桃太郎」（芥川龍之介・作）の2作を上演。

日時：3月25日(土)14時～15時 会場：ロビー（無料）

出演：熊谷百合子さん（朗読）、伊藤希代子さん（ピアノ）

席数：50席※要予約 予約受付 3月1日(水)9時から電話申込（☎21-4141）

※当日は立ち見・展示室で聞くこともできます（予約不要）

ミュージアム 通信

小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一般 500円(400円)

高校生 300円(200円)

小中学生 100円(50円)

倶知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一般 200円(100円)

高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時～17時

入館は16時30分まで

※（ ）内は10名以上の団体料金

3月の休館日 毎週火曜日(21日(火)は開館)、
22日(水)、美術館は2月27日
(月)～3月3日(金)(展示替えのため)

展覧会初日(3月4日)は美術館観覧無料

令和4年度

もう3月ですね。令和4年度から私が美術館長となり、はや1年が過ぎようとしています。

昨春、前任の柴館長から業務の内容や美術館の役割・あり方を拝聴した折には、「これは大変なことになったぞ」と不安で身震いしたものです。

年度途中にも人事異動があったなかで、当美術館開館以来最大級の企画展となった「倶知安高校100周年記念京極夏彦美術展」が盛況のうちに無事終了されたこと、皆さまには改めてお礼を申し上げます。なにより、要領が悪く知識もない私に代わって尽力してくれた当館スタッフには、本当に感謝しています。

私自身、美術館の業務やこのコラムの執筆を通じて、芸術に対する考え方・接し方が大きく変わった1年でもありました。この貴重な経験を、今後の職務や人生に生かしたいと思っています。

1年間ありがとうございました。

館長 福原秀和